

2022年2月15日

当院心臓血管外科にて大動脈解離に対し
ステントグラフト内挿術を受けた患者さん・ご家族へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2007年12月～2025年3月の間に、大動脈解離もしくは解離性大動脈瘤で入院し、ステントグラフトによる治療を受けられた方

【研究課題名】大動脈解離に対する弓部・下行大動脈のステントグラフト内挿術の中長期成績の検討

【研究責任者】松田 均 心臓血管外科（血管外科） 部長

【研究の目的】大動脈解離に対するステントグラフト内挿術の治療効果を調査するため

【利用するカルテ情報・資料】

年齢・性別・既往歴・大動脈解離に関する所見（発症時期・手術の既往・破裂や臓器虚血の有無・大動脈径・エントリーやリエントリーの部位・肋間動脈や腰動脈と腹部主要分枝の分枝形態・偽腔の血栓閉鎖の状況）・ステントグラフト（種類・径・長さ）・補助的な治療について・術後の経過・治療効果（大動脈径などについて、概ね術後3カ月、6カ月、以後6か月毎に観察します）

【研究期間】2017年1月27日より2026年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 心臓血管外科（血管外科）

担当医師 松田 均

電話 06-6170-1070(代表)